

うのはな館夏の企画展 「戦争と平和」を開催

太平洋戦争が終わって 80 年が経過し戦争を知る人々が少なくなる中、その悲惨さと、平和の大切さを若い世代に伝えることがより難しくなっています。大きな空襲はなかった東浦町でも日中戦争以降約 1,400 人の兵士が出征し、394 人の命が失われました。

企画展では、戦時中や終戦後の社会情勢や人々の暮らしを伝える資料を展示し、平和とは何かを考えるきっかけとしていただければと思います。

●と き 2025 年 6 月 28 日(土曜日)～8 月 31 日(日曜日)

午前 9 時～午後 5 時 ※月曜休館

●ところ 東浦町郷土資料館(うのはな館)

●入館料 無料

●主な展示資料

・「認識票」

兵士一人一人に与えられた認識番号が刻印され、それにより身元確認が行われた。生還した兵士のものは縁起がいいとされ、次に使う兵士に好まれました。

・「戦没者遺族台帳」

出征した兵士 1 人につき 1 枚で記載され、戦没者の偉功や氏名、戦没地、遺族として両親や兄弟、妻子の氏名が記載されています。



●その他 町が制作した、遺族へのインタビューDVDを上映します。

・上映日 7・8月の毎週土・日曜日、8月13日(水)

・時間 午前9時～午後4時(1回30分・常時繰り返し上映)

■問い合わせ

東浦町郷土資料館(うのはな館) 担当：花原・楠 ☎0562-82-1188 ※月曜休館